

令和4年度 此花区運営方針

(区長:高橋 英樹)

◆計画

区・局の目標 (何をめざすのか)
区民ひとりひとりが元気で笑顔にあふれ、輪になって、いのちが輝き続けるまちを実現する

区・局の使命 (どのような役割を担うのか)
まちの防災力・減災力を強化し、教育と福祉を充実し、いのちが輝き続ける地域社会づくりに取り組む

令和4年度 区・局運営の基本的な考え方 (区・局長の方針)
上記使命を果たすため、「防災・減災」「子ども」「福祉」「まちづくり・環境」の4分野を重点的な経営課題と位置づけ、区を運営する

重点的に取り組む主な経営課題 (様式2)

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題1 防災・減災】 災害時において、すべての区民がいのちを守れる状態をめざす	・此花区災害時区民避難指針に沿った世帯別避難計画(わが家の避難プラン)の作成を促進・支援する

主な具体的取組 (4年度予算額)	
【1-1-1 わが家の避難プランの作成支援】(令和4年度4,525千円) ・世帯別避難計画(わが家の避難プラン)について、重点地域を選定する(2地域) ・選定した地域に郵送による世帯配布を行い作成を促進するとともに、各種イベント等で啓発・相談会を実施(6回以上)	

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題2 子ども】 すべての子どもが、いのちを輝かすために成長しつづけている状態をめざす 【児童虐待予防については別掲】	・学力向上へ向け児童・生徒の指導を適切に行うためのツールを導入する ・児童・生徒の理解度に応じた学習・学習機会を提供する ・職場体験や職業講話の受け入れ先と連携し、より多くの児童・生徒が将来の夢や目標をイメージできるような学習内容を提供する ・全ての児童が課題解決に向けて積極的にグループワークに参加することができるツールを導入する

主な具体的取組 (4年度予算額)	
【2-1-1 子どもの学力や課題解決力の向上】(令和4年度7,122千円) ・子どもの学習に関する弱み・強みを知るため分析機能付単元別テストなどを実施し、その結果を教員が個々の児童・生徒の指導に活用するとともに、保護者にも情報提供を行うことにより自主学習の充実を図る(8小学校、単元別テスト24回/年、保護者へ情報提供3回/年) ・児童・生徒がより興味を持つ企業と連携し、「やりたい体験」「ききたい話」を学校に提供し、活用することにより、将来の夢や目標をイメージしてもらう ・課題解決学習に係るツールとなるロボットを用い児童全員が参加する学習支援プログラムを学校に導入し、学校において活用してもらうことで児童の積極的な課題解決能力の向上を図る(8小学校)	

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題3 福祉】 ・すべての高齢者が、いのちを輝かせ続けている状態をめざす ・すべての子どもが適切な支援のもと虐待を受けることなくいのちを輝かせ成長している状態	・見守りボランティアの地域での認知度を向上させ、見守りボランティアの発掘・育成に取り組むとともに、その活動を充実させる ・見守り活動にICTツール等を用いた手法を検討し、若い人にも受け入れやすい形でボランティア活動を情報発信することにより見守りボランティアの発掘・育成をすすめる ・学校や保健師 保育所などの所属機関からの情報提供にもとづき、支援が必要な18歳未満のすべての児童および保護者に身近な区役所において、もれなく子育て支援を行う体制を構築する

主な具体的取組 (4年度予算額)	
【3-1-1 高齢者等の見守り】(令和4年度8,265千円) ・地域行事において、このはな地域見守りタイの活動を積極的にPRし、見守りボランティアの発掘・育成を行う 【3-2-1 学齢期の子育て支援】(令和4年度9,327千円) ・学校を巡回し、心理的な専門助言が必要な児童及びその保護者に心理的助言を行う 【3-2-2 乳幼児期の子育て支援】(令和4年度2,564千円) ・無在籍児や不登園児など、関係機関との関わりがない世帯に対して相談員が訪問し、相談や助言を行い、必要な支援につなぐ	

経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題4 まちづくり・環境】 ・すべての区民が、持続可能な社会の実現に高い意識を持ち、つながりあい、助け合い、地域課題に取り組み、いのちが輝き続ける地域社会を自らつくり、運営している状態をめざす</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所や地活協で実施しているPRに加え、地活協が実施している行事やイベント等において、さまざまな媒体を活用し、地域での活動や取組を地活協が中心となって開催していることをPRし、認知度向上を図る ・意欲と能力のある新たな担い手の確保や、幅広い年齢層が地域活動に参画できるための支援を行う ・地活協に求められる準行政的機能や総意形成機能について、地活協の役員や構成団体、地域住民の理解が深まる取組を実施する ・まちづくりセンターが作成した地域カルテをもとに地域と情報共有の会議を開き地域特性に即した地域課題の共有と解決策の検討を行い、地活協が自律的に解決できるようきめ細やかな支援を行う ・まちの盛り上げに向け、2025年の大阪・関西万博やUSJを訪れた人が他の地域にも足を運ぶような仕掛けづくりを行う ・児童が持続可能な社会の実現に関心を持てるようなコンテンツを学校に提供し、授業において活用してもらう ・区民が持続可能な社会の実現に関心を持てるようペットボトル回収等地域と連携した資源循環の取り組みの支援を行う
<p>主な具体的取組（4年度予算額）</p>	
<p>【4-1-1 地域運営の支援（自律的な地域運営に向けた支援）】（令和4年度45,068千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地活協が実施している行事やイベント等において、地活協の取組が多岐にわたることをPRする（随時） ・意欲と能力のある新たな担い手を確保するため、担い手育成講座を開催する（2回） ・地活協のメンバーが交代した地域には、地活協総会の場での地活協の意義、機能について区役所やまちづくりセンターによる説明を実施するほか、地域に出向いて活動内容の透明性を確保するための会計説明会を開催するなどきめ細やかな支援を行う ・地域特性に即した地域課題を解決するため、まちづくりセンターと連携し、地域における地域資源の活用促進を行う ・地活協と地活協外部の人がつながる場を試行する（1回） <p>【4-1-2 正蓮寺川公園を軸としたまちの機運醸成】（令和4年度4,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年の大阪・関西万博を契機とした此花区のまちの盛り上げに向けた有識者による委員会等の立上げ ・此花区のまちのにぎわいづくりに向けたパブリックアート作品の設置 <p>【4-1-3 児童・生徒への環境学習支援】（令和4年度（一部再掲）3,770千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に、児童が関心を持ち学び考えるためのロボットを用いるなどした環境学習コンテンツを学校に提供し、授業で活用してもらう <p>【4-1-4 資源循環】（令和4年度0千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト」を推進する ・ベビー服等のリユースやフードドライブを実施する（12回） 	

「市政改革プラン3.1」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
人材育成の取組	様々な環境が変化の中で、これらに対応した取組を行うため、自主的・主体的に職務に当たる職員のさらなる育成が必要であることから、本市の市政運営の基本方針を理解し、担当業務の知識とスキルを兼ね備えた職員の育成に取り組む
主な取組項目	取組内容
歳入の確保 国民健康保険料の収納率向上	保険料負担の公平性の確保と本市の歳入増を図る
主な取組項目	取組内容
—	—

◆自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと
<p>【防災・減災】「此花区災害時区民避難指針」に基づき、災害の種類に応じた適切な避難行動を各世帯で計画してもらう「世帯別避難計画」の作成支援を実施した。今後も引き続き広報紙等で広く周知・啓発を行い、水害に弱い此花区から区外へ分散避難を促すような取組を進めていく。</p> <p>【子ども】分析機能付単元テストなどを全小学校で実施した。また、小学校にロボットを用いた学習支援プログラムを導入し、学校において活用してもらうことで児童の積極的な課題解決能力の向上を図った。</p> <p>【福祉】このはな地域見守りタイの活動については、見守りボランティアの資質向上のための研修会、ボランティアリーダー連絡会、事業の受託法人による広報周知に取り組んだ。今後は、此花区民アンケートにおける見守り活動の認知度の指標をより一層向上させていきたい。</p> <p>児童虐待の取組については、区役所内に不登校支援ルーム「このはなすまいるルーム」を開設するとともに地域におけるこどもの居場所を充実させるために社会福祉協議会と連携のうえ、こどもの居場所の拡大を図ることができた。今後も継続して支援の必要な子どもと保護者を孤立させない取組を進めていきたい。</p> <p>【まちづくり・環境】地域カルテを活用し、地域担当職員と地域とで地域課題の共有を行ってきた。今後は、過去に行っていた活動ノウハウの活用や、地活協と地活協外部の人がつながる場の試行など、新たな地域人材の拡充に向けた支援を行い、地域活動運営の基盤強化を図っていきたい。</p> <p>環境に関する取組については、ロボットを用いた環境学習の実施や新たなペットボトル回収を図ってきた。引き続き実施箇所等を広げていく。</p>

解決すべき課題と今後の改善方向
<p>【防災・減災】世帯別避難計画（わが家の避難プラン）の作成支援について、今年度は1,766世帯となり昨年度の4,000世帯を下回った。そのため、令和5年度は、新たに令和3年度に回収がなかった町会に対し、再度、配布・回収の依頼を行っていく。また、小中学校での防災授業における世帯別避難計画（わが家の避難プラン）の作成指導についても学校の協力を得て防災授業後の宿題として提出を促すことで回収、支援を図ることとする。</p> <p>【子ども】学習習慣の定着の取組について、現状の取組のみでは戦略の進捗に対し不十分であると考えられることから、授業外の学習計画、学習時間を向上させるため、小学校5、6年生を対象に民間事業者を活用した課外学習を実施していく。</p> <p>【福祉】見守りタイの認知度が低いことから、令和5年度は、受託者が行う見守り活動のPR方法として、新たにSNSを活用した情報発信などを実施していくことで、高齢者への見守りだけでなく若い世代への働きかけを図る。さらに、委託者である区役所としても、受託者と調整・連携のうえ、従来の区の広報誌やホームページといった手法に加えてSNSを活用した情報発信を実施していくことで受託者と委託者による重層的なPRとなるよう取組を進めていく。</p> <p>【まちづくり・環境】「地活協を知っている」と回答した割合が47.3%とプロセス指標の目標を達成できなかった。令和5年度は、イベント開催時などに行うコミュニケーション調査の際に、地活協の取組が多岐にわたることが記載されたチラシを同時配付しPR件数を増やしていく。</p> <p>・地活協の意義や求められる機能の理解促進については、役員の交代が生じた際に、十分な引継ぎが行われていないなど理解度がまだ十分ではないと感じている。そのため、令和5年度は、地活協のメンバーが交代した地域への説明会の回数を増やしていく。</p> <p>・地域課題への取組支援については、戦略の進捗が順調でないことから、地域資源や人材の把握など地域人材を充実させる新たな取組として、意欲のある人材のGRANT（地域活動マッチングサービス）への登録を促し、担い手となりうる人材を増やしていく。また、地活協と地活協外部の人がつながる場の試行については、地域、企業、NPO等が参加する交流会を開催する。</p> <p>・万博を契機としたまちの盛り上げについては、区民に活動が浸透するよう令和5年度において、正蓮寺川公園のアート公園化、お披露目イベントの実施、万博カウントダウンイベント及びこのはな万博の実施などの取組を進めていく。</p>